

「ふるさとの学び特別賞」

学校名	小浜市立内外海小	学校	校長名	渕上 美千江
住 所	福井県小浜市阿納尻 45 号 9 番地			

1. 推薦理由
<p>令和元年度、新聞に内外海地区の海ゴミ問題が掲載された。海の資源で生計を立てている家庭にとっては喫緊の課題である。本校の児童は、この海ゴミ問題を自分事として「この美しい内外海の海を守りたい」「海ゴミ問題を少しでも解消できる工夫をしたい」という志のもと学び続けている。児童の活動と共に、この問題を広く知っていただきたいことから推薦したいと考えた。</p>
2. 活動内容
<p>テーマ「 創ろう！内外海の未来 ～海洋ゴミを減らそう～ 」</p> <p>対象学年：6年19名・5年10名・計29名</p> <p>6年生は昨年の5年生の時から海洋ゴミの現状調査を実施してきた（西小川・加尾・田鳥などでビーチコーミングを実施）。今年度は、海洋ゴミのみでなくゴミそのものを減らす視点（アップサイクル）で取り組んできた。「古着回収とリメイク」「牛乳パック用のストローを減らす取組」「牛乳パックガチャガチャ」などアイデア溢れた取組を実践している。特に、11月23日の本校の学習発表会では、見えそうな古着やリメイク品を展示し、保護者や地域の方々に持って帰ってもらった。5年生は、今年度より「海洋ゴミ」について学び始めた。1学期は、堅海地区の海洋ゴミ調査を実施した。企業による先進的な「プラスチック判別機」や海洋プラスチックからコースターなどを制作する技術などに触れる機会を得た。2学期は、実際に、「海洋ゴミを実用品に変えることはできないか。」と考え、海岸に落ちていたホンダワラなどを使って「ハーバリウムづくり」を行った。6年生と同じように、学習発表会では、「ハーバリウムマーケティング調査」を実施した。海洋ゴミを減らすために、呼びかけや看板設置などだけではなく、実際に製品を生み出したり加工したりとアップサイクルの視点を多く取り入れた活動となっていた。</p>
3. 年間活動実績（12月以降の予定を含む）
<p>6年生：4月初昨年度の海ゴミの実態調査から、「未来へつなぐ内外海の海」をテーマとしてゴミを減らす具体的な取組について話し合った。2学期に若狭高校海洋科学科の生徒の発表やアドバイスを元に、具体的なアップサイクルの取組を設定した。その1つが、保護者や地域を巻き込んでの実践「古着の収集」であった。実際に、古着をまだ着られる物と着られない物に分別し、着られる物は学習発表会会場や児童玄関前に置き、自由に持って帰ってもらった。着られない物に関しては、買い物袋や髪留めなどに自分たちでリメイクし紹介して気に入った物は自由に持って帰ってもらった。3学期は、内外海の未来を考えるために、1人1人が自分事として持続可能な社会、未来へ向けてできることを考える。「継続」できることを考え、下学年にも引き継いでいく。</p> <p>5年生：1学期当初は、「マイクロプラスチックについて調べよう」をテーマに、雲龍丸乗船体験や海ゴミ調査を元に、現状把握に努めた。2学期からは、海ゴミを減らすことはもちろんだが、今年度のテーマ「アップサイクル」に向けて、海ゴミ活用方法としてハーバリウムづくりに取り組んだ。3学期は、マーケティング調査の結果から商品開発を実施することや冬場に増加する「漂着ゴミの現状」について、実際に調査に行きたいと考えている。可能であれば、他学年も巻き込んで実施したいが、安全面から無理であるならば、高学年対象でも実施したいと思う。</p>
4. 提出書類リスト
<p>A 4 2 枚： 新聞記事「集めたごみで海中風景」 学びの様子（写真6枚）</p>

